

# 「滋賀県猫と共に生きるためのガイドライン」 概要

## (目的)

猫は犬と違い、飼い猫かどうかの区別があいまいです。

そのため、飼い主の不明な猫に餌を与えることで猫が増えすぎ、近隣の生活環境を悪化させるケースが増加しています。

本ガイドラインは、「猫を排除するのではなく共生すること」を目的とし、地域が主体的にルール作りをすることをめざします。



## (趣旨)

### 1 地域が主体的に猫問題に取り組むこと

→ 猫問題は、動物の問題であると同時に地域の生活環境の問題でもあります。地域で協議の場を持ち、どういう対策ができるのか話し合うことが重要です。

### 2 猫を排除するのではなく、増やさないための対策をとること

→ 猫問題の根本は数が増えすぎることにより、繁殖を抑える措置が必要です。餌やりを禁止することはただちに問題の解決になりません。

### 3 猫との共生について地域のルールを作ること

→ 最終的にはすべての猫が飼い主の責任の下、飼い猫として屋内で飼育されることが望ましいのですが、困難なケースが多いのが現状です。飼い猫の飼い方、飼い主が不明な猫への餌の与え方について、地域でルール作りが必要です。



◎野良猫は全て元は人間が原因です。

(飼い猫の放し飼い、捨て猫)

◎野良猫による被害(糞尿、鳴声、引っかきなど)は生活環境問題です

野良猫を放っておくと、どんどん数が増えてしまいます。  
そこで、増えなくする対策が必要です。



## 【今いる野良猫への対策】

まずは、地域で野良猫対策を実施することに、みなさんの同意を得ましょう

- 自治会等からの要請により、センターが地域でガイドライン事業について説明します
- 野良猫の駆除はできません。不妊去勢手術して元の場所に返します
- 猫の数はすぐにゼロにはなりません、確実に減少します
- 猫を捕まえるには、餌やりさんの協力を得るのが効果的です

地域で合意ができれば野良猫の数を把握しましょう

- アンケート調査等により、野良猫・飼い猫の数や分布等を調べます
- 間違って飼い猫を捕獲しないよう、周知が必要です

不妊去勢手術の予算を立てましょう

- 把握した頭数から大まかな予算を立てましょう
- 新たな野良猫が現れた時のために、毎年一定額の予算を組みましょう

野良猫の捕獲・不妊去勢手術を実施しましょう

- 捕獲については、センターおよびボランティアがサポートします
- 手術した猫には目印に片耳の一部をカットします

地域で野良猫の管理をするためのルール作りをしましょう

- 決められた場所・時間に餌を与え、置き餌をしないようにします
- トイレを設置し、糞の始末をします
- 捨て猫を防止するための対策も必要です

野良猫の管理を効果的に行うために、  
地域で継続して見守りをしましょう。

- ★ 耳カットされていない猫を見かけたら、飼い主の有無を確認し、速やかに不妊去勢手術をしましょう。
- ★ 地域内で新たな猫を増やさないために、飼い猫は屋内で飼育し、不妊去勢手術を必ず実施しましょう。

